

## 学校のあゆみ

昭和 35 年 4 月、不入斗中学校に通学していた田戸小学区の生徒および坂本中学校に通学していた諏訪小学区の生徒を併合し、横須賀市大津町 5 - 27 の地に横須賀市立常葉台中学校が開校した。以後 17 年間、職員・生徒・父母が一つとなって学校づくりに専念し、その教育条件を整備してすばらしい教育実践を積み重ねた。その間 4,092 名の有為の卒業生を送り出すとともに、神奈川県教育委員会より環境美化優良校として、また日本学校保健体育連合会より全国保健体育優良校として、また県教育委員会より優良 PTA としてそれぞれ表彰されたほか、県社会福祉教育研究指定校、主体的学習の研究推進、その他数多くの教育研究の成果をあげた。

反面常葉台中学校の立地条件はその所在地が学区外、大津地区のため、地域との連携の不足、遠距離電車通学等、数々の障害があったので、“学区内に中学校を”との要望が、父母や地域住民の間に高まり重大関心事となっていたが、幸いに教育委員会の理解と、地域社会、学校関係者の方々の積年の協力が実を結び、学区内の横須賀市小川町 18 番地に横須賀市立常葉台中学校が新設開校した。



## 沿革

- 昭和 51 年 4 月 1 日 横須賀市立常葉中学校開校  
初代校長川田五三六先生を迎える。
- 昭和 51 年 6 月 12 日 新校舎落成・開校記念式典を行う。
- 昭和 51 年 9 月 1 日 川田五三六校長退職される。2 代校長禿宗男先生を迎える。
- 昭和 53 年 2 月 体育館・技術科教室完成
- 昭和 53 年 3 月 体育館落成式を行う。
- 昭和 54 年 2 月 校庭にスプリンクラー設置
- 昭和 54 年 2 月 校庭の植樹完成
- 昭和 54 年 9 月 1 日 禿宗男校長退職される。3 代校長片倉茂先生を迎える。
- 昭和 56 年 6 月 5 周年記念式典を行う。
- 昭和 57 年 9 月 1 日 4 代校長雑賀昭二先生を迎える。
- 昭和 59 年 4 月 1 日 5 代校長藤野初男先生を迎える。
- 昭和 60 年 4 月 1 日 6 代校長滝沢直義先生を迎える。
- 昭和 61 年 6 月 12 日 10 周年記念式典を行う。
- 昭和 62 年 3 月 31 日 滝沢直義校長退職される
- 昭和 62 年 4 月 1 日 7 代校長堀越和宜先生を迎える。
- 昭和 62 年 7 月 17 日 おやじの会結成。
- 
- 平成元年 4 月 29 日 学校農園開きを行う。
- 平成元年 10 月 11 日 2F 展示スペース完成
- 平成 3 年 3 月 6 日 校庭整備完了
- 平成 3 年 3 月 31 日 堀越和宜校長退職される。
- 平成 3 年 4 月 1 日 8 代校長山田健先生を迎える。
- 平成 4 年 12 月 8 日 コンピューター教室完成。
- 平成 5 年 3 月 31 日 山田健校長退職される。
- 平成 5 年 4 月 1 日 9 代校長慶長敏彦先生を迎える。
- 平成 7 年 3 月 31 日 慶長敏彦校長退職される。
- 平成 8 年 4 月 1 日 10 代校長佐藤設夫先生を迎える。
- 平成 11 年 3 月 31 日 佐藤設夫校長退職される。
- 平成 11 年 4 月 1 日 11 代校長佐藤洋光先生を迎える。
- 平成 15 年 3 月 31 日 佐藤洋光校長退職される。
- 平成 15 年 4 月 1 日 12 代校長北村澤三郎先生を迎える。
- 平成 17 年 3 月 31 日 北村澤三郎校長退職される
- 平成 17 年 4 月 1 日 13 代校長三縄保先生を迎える。
- 平成 22 年 6 月 12 日 50 周年式典を行う。
- 平成 23 年 3 月 31 日 三縄保校長退職される。
- 平成 23 年 4 月 1 日 14 代校長宮本里美先生を迎える。
- 平成 25 年 10 月 17 日 新グラウンド完成式を行う。
- 平成 26 年 3 月 31 日 宮本里美校長退職される。
- 平成 26 年 4 月 1 日 15 代校長吉田和市先生を迎える。
- 平成 30 年 3 月 31 日 吉田和市校長退職される。

平成 30 年 4 月 1 日 16 代校長佐藤昌俊先生を迎える。  
令和 2 年 4 月 1 日 17 代校長平井慶一郎先生を迎える。  
令和 2 年 4 月 1 日 校舎にエレベーター設置。  
令和 3 年 9 月 29 日 給食開始  
令和 4 年 4 月 1 日 18 代校長小坂橋貴久先生を迎える。